

三上智恵監督映画第三弾上映会
「標的の島 風かたか」
2017年10月21日(土)AM/PM
和泉ミセ3F多目的ホール
チケット(1000円)は泉北教組まで

泉北教育

NO.2087 2017.9.19.
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

泉北地区の小学校 道徳教科書採択一覧

和泉市	日本文教出版
高石市	日本文教出版
忠岡町	光村図書

教育出版社の採択はゼロに
2018年度から「特別の教科」となることになった道徳。大阪の公立小学校で来年から使われる道徳教科書の採択がこの夏、府内全市町村で行われました。大阪府内では、安倍総理や東大阪市長などの政治家の写真を載せたり、国旗国歌を押し付ける内容となつて

求められる、開かれた教科書採択

いる教育出版の採択はあり
ませんでした。

背景には地域での取り組み

教育出版の採択がなかった背景には、「育鵬社社会教科書の採択の再現は許さない」と道徳問題の学習

会を早くから開いたり、教職員組合や退職教職員、市民、新婦人などが声を掛けあつて展示会に行き、意見を書いたりするなど組織的に取り組んだ地域が増えたことが挙げられます。

教科書採択の改善点と課題

その結果、2年前の社会教科書採択で大きな問題となつた大阪市の教育委員会議の仕組みはかなり改善されました。オープンな場

での議論が行われ、教育委員会では可能な限り全員傍聴を保障されました。

和泉市でも、2年前の社会教科書採択時は抽選が行われ限られた人数だけが傍聴できましたが、今回の道徳教科書採択の教育委員会議は希望者全員が傍聴できました。

一方、課題も残っています。高石市内の小学校では、夏休み前に各校で道徳教科書の回覧がありました。採択に対する意見を出せることが教職員に伝わっていません。採択に携わった学校もありません。

採択の際に求められるもの

「子どもと教科書大阪ネット21」事務局長の平井美津子氏によると、府内の各市町村教育委員会に採択に



安倍首相(左)や野田東大阪市長(上)が写真入りで掲載された教育出版の小学校用道徳教科書



大阪府教育委員会

あつて教育研究者や現場教職員、保護者、市民の参加によって議論を深める仕組みをつくること。すべての教科書採択の手順を公開して市民に開かれた採択を行うこと。教職員の声を採択に反映させること、だれもが教科書を見ることができるよう

にすること。教科書採択を審議する教育委員会会議を多くの市民が傍聴できるようにすることなどを要請してきたこのことです。

育鵬社教科書問題

2016年度から使用されている中学校の社会科の教科書採択が行われる際に、育鵬社の教科書がアジア太平洋戦争の正当性を強調する、日本国憲法がアメリカに押し付けられたかのように受け取れる表記がされているなどの問題点が指摘され議論になりました。

子どもたちに手渡す教科書が、一部の限られた人間しか読めない、関わることでできないという閉鎖的なやり方で決められることは、民主的な手続きとは言えません。より開かれた採択を行うよう求めていくことが必要です。

子どもと学校を追い詰める「新学習指導要領」は抜本的見直し。「チャレンジテスト」は廃止。

